

第3章

地域福祉を取り巻く現状

唐津市の地域福祉を取り巻く状況は、今、どのようになっているのでしょうか。
第3章では、さまざまな統計データや資料から、人口や世帯の動向を示し、支援を必要とする人や市の社会資源などについてまとめます。

- 1 人口・世帯の状況
- 2 支援を必要とする人の状況
- 3 社会資源の状況



作品名「踊る一輪のりんご」

非公表

【作品の紹介】

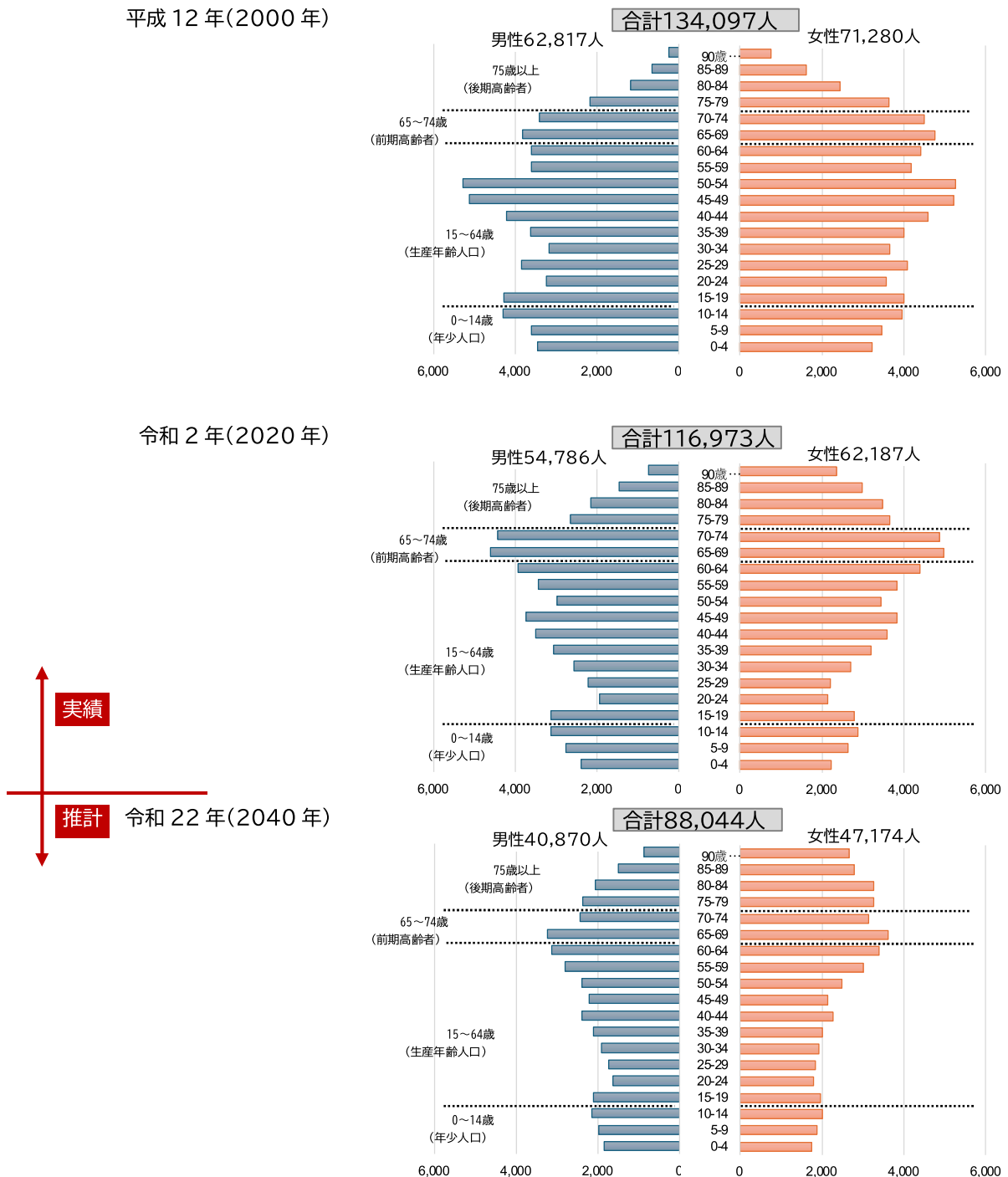
踊る一輪のりんごのように、みなさんも日々楽しく過ごしていただきたい。

1 人口・世帯の状況

(1) 人口構成の変化

唐津市の人口構成を平成12年と令和2年で比較すると、老年人口は増加し、生産年齢人口および年少人口は減少しています。令和2年時点の年少人口は年齢が下がるにつれて少なくなっており、少子化の進行も相まって令和22年には総人口が88,044人に減少する予測となっています。

▼ 年齢別人口構成の推移と推計



資料:平成12年・令和2年は国勢調査、令和22年は平成27年国勢調査からの推計(唐津市論点データ集)

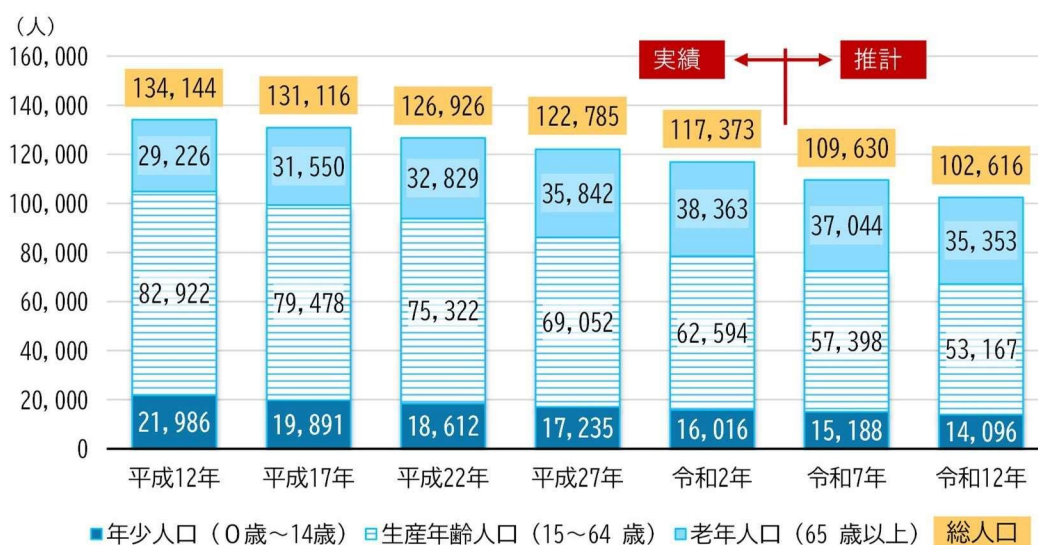
(2) 年齢区分別人口構成の推移

総人口は、平成12年の134,144人を100とした場合の令和2年の117,373人は87で、13ポイントの減少となります。

同様に年齢3区分別の推移をみると、年少人口（0～14歳）は平成12年の21,986人から令和2年の16,016人へ27ポイントの減少、生産年齢人口（15～64歳）は平成12年の82,922人から令和2年の62,594人へ25ポイントの減少となっています。

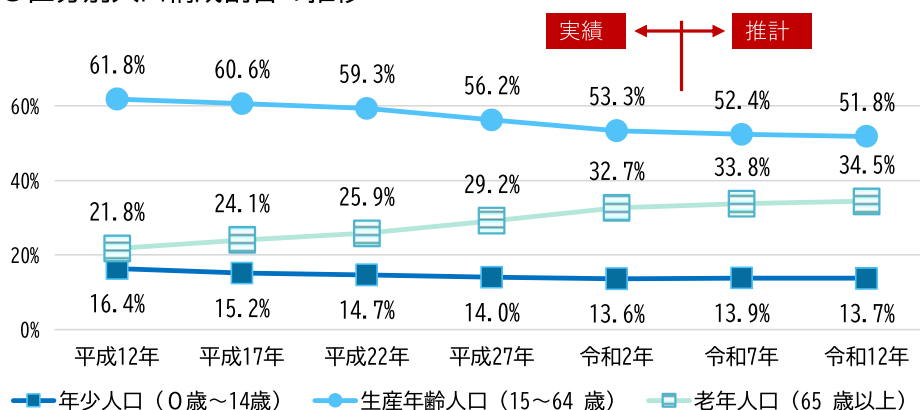
老年人口（65歳以上）は平成12年の29,226人から令和2年の38,363人へ31ポイントの増加となっており、高齢化の進行が早いことがわかります。

▼ 年齢3区分別人口構成の推移



年齢3区分別人口構成割合の推移をみると、平成12年に老年人口の割合が21%を超えていわゆる超高齢社会の状態となり、上昇傾向が続いています。令和2年の老年人口割合は32.7%で同年の日本の高齢化率28.8%より高く、令和12年には34.5%に達する見込みです。

▼ 年齢3区分別人口構成割合の推移



(3) 世帯構成の推移

唐津市の世帯構成の推移をみると、一般世帯総数は平成12年の42,362世帯から令和2年の44,011世帯へと、20年間で1,649世帯増えています。

内訳をみると単独世帯の増加傾向が大きく、20年間で4,143世帯増えています。また、両親と子ども、女親と子どもの世帯も増加傾向となっています。

▼ 世帯構成の推移

	一般世帯総数	親族世帯							非親族世帯	単独世帯
		総数	核家族世帯				その他の親族世帯			
			総数	夫婦のみ	夫婦と子ども	男親と子ども		女親と子ども		
平成12年	42,362	33,490	22,748	7,369	11,529	464	3,386	10,742	133	8,739
平成17年	43,119	33,443	23,377	7,694	11,188	539	3,956	10,066	151	9,525
平成22年	43,527	32,861	23,664	7,696	10,954	612	4,129	9,197	296	10,365
平成27年	43,712	31,817	23,715	8,186	10,622	634	4,273	8,102	313	11,465
令和2年	44,011	30,777	23,923	8,482	10,375	646	4,420	6,854	326	12,882
▼平成12年を「100」とした場合の令和2年の値										
	104	92	105	115	90	139	131	64	245	147

資料：令和2年国勢調査

※「子ども」は続柄上の表記であり、年齢に関わりません

高齢者がいる世帯の推移では、ひとり暮らしの世帯が増加傾向となっています。この影響が、世帯構成の推移における単独世帯の増加に及んでいるものと考えられます。

▼ 高齢者世帯の推移

	平成12年	平成17年	平成22年	平成27年	令和2年	H12:R2比
一般世帯総数	42,362	43,119	43,527	43,712	44,011	104
65歳以上の高齢者のいる世帯	19,439	20,702	21,261	22,767	23,732	122
ひとり暮らしの世帯	3,660	4,142	4,514	5,484	6,179	169
高齢者夫婦世帯※	3,669	4,055	4,436	7,906	4,784	130
その他の世帯	12,110	12,505	12,311	9,377	12,769	105
一般世帯総数に占める割合	45.9%	48.0%	48.8%	52.1%	53.9%	117

資料：令和2年国勢調査

※高齢者夫婦世帯：夫65歳以上、妻60歳以上の夫婦のみの世帯

(4) 各地区（旧市町村）の人口・世帯状況

人口・世帯について、唐津市内の各地区（旧市町村）の状況をみると、5年間で人口が増加した地区は浜玉地区のみとなっており、他の地区では人口が減少しています。

人口増減率がマイナス10%以上となっている地区は、呼子地区、肥前地区、巖木地区、七山地区となっています。

5年間の世帯増減率をみると、唐津地区では、人口が減少しつつ世帯数が増加しており、世帯を構成する人数が相対的に減少していることがうかがえます。

▼ 地区別の状況

	平成27年の人口(人)	令和2年の人口(人)	5年間の人口増減数(人)	5年間の人口増減率(%)	平成27年の世帯数(世帯)	令和2年の世帯数(世帯)	5年間の世帯増減数(世帯)	5年間の世帯増減率(%)
唐津市	122,785	117,373	-5,412	-4.4	43,872	44,192	320	0.7
唐津地区	76,449	74,749	-1,700	-2.2	28,513	29,120	607	2.1
浜玉地区	10,860	11,140	280	2.6	3,437	3,770	333	9.7
巖木地区	4,331	3,745	-586	-13.5	1,560	1,443	-117	-7.5
相知地区	7,646	6,948	-698	-9.1	2,593	2,507	-86	-3.3
北波多地区	4,363	4,130	-233	-5.3	1,485	1,457	-28	-1.9
肥前地区	6,982	5,943	-1,039	-14.9	2,220	2,055	-165	-7.4
鎮西地区	5,442	4,974	-468	-8.6	1,827	1,784	-43	-2.4
呼子地区	4,600	3,893	-707	-15.4	1,630	1,484	-146	-9.0
七山地区	2,112	1,851	-261	-12.4	607	572	-35	-5.8

資料：令和2年国勢調査

平成27年の人口・世帯数：令和2年10月1日現在の市区町村の境域に基づいて組み替えた平成27年の数値

2 支援を必要とする人の状況

(1) 要介護（支援）認定者の状況

唐津市の要介護（支援）認定者数の状況をみると、全体では令和2年度まで増加が続いていましたが、令和3年度以降は減少に転じています。

要介護認定度別に割合をみると、それぞれの認定度で年度による増減がみられますが、要介護1では継続的に割合がわずかずつ上昇しています。

▼ 要介護（支援）認定者数の推移

上段：人 下段：%	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
要支援1	982	893	950	949	867
	15.3	13.9	14.7	14.7	13.6
要支援2	760	704	730	712	699
	11.9	11.0	11.3	11.0	10.9
要介護1	1,423	1,501	1,541	1,588	1,613
	22.2	23.4	23.8	24.6	25.2
要介護2	992	1,008	1,008	1,009	1,024
	15.5	15.7	15.6	15.6	16.0
要介護3	869	908	866	847	838
	13.6	14.1	13.4	13.1	13.1
要介護4	847	844	864	856	865
	13.2	13.1	13.2	13.3	13.5
要介護5	531	566	521	494	494
	8.3	8.8	8.0	7.7	7.7
計(人)	6,404	6,424	6,480	6,455	6,400

資料：介護保険事業状況報告 月報(暫定版、各年度3月末現在)

(2) 障害者手帳所持者の状況

①身体障がいのある人

唐津市の身体障害者手帳所持者数の状況をみると、全体では平成30年度の6,535人から令和4年度の5,978人まで減少しています。

障がい種別にみると、視覚障がい、音声・言語・そしゃく機能障がい、肢体不自由のある人は減少しており、その他の種別では年度によって増減がみられます。

▼ 身体障害者手帳所持者数の推移

		平成 30年度	令和 元年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度
計		6,535	6,476	6,372	6,184	5,978
年代別	18歳未満	107	107	106	107	101
	18歳以上	6,428	6,369	6,266	6,077	5,877
障がい 程度別	1級	1,738	1,712	1,674	1,619	1,559
	2級	914	884	871	831	795
	3級	900	884	864	837	812
	4級	1,566	1,565	1,555	1,507	1,458
	5級	793	774	746	743	723
	6級	624	657	662	647	631
障がい 種別	視覚障がい	434	420	410	392	388
	聴覚・平衡機能障がい	662	687	685	672	644
	音声・言語・そしゃく 機能障がい	74	73	67	60	60
	肢体不自由	3,681	3,601	3,497	3,358	3,226
	内部障がい	1,684	1,695	1,713	1,702	1,660

資料:障がい者支援課(各年度3月末現在)

②知的障がいのある人

唐津市の療育手帳所持者数の状況をみると、年度による増減がみられ、年代別、障がい程度別にみても同様にそれぞれゆるやかな増減を繰り返しています。

▼ 療育手帳所持者数の推移

(人)

		平成 30年度	令和 元年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度
計		1,322	1,336	1,331	1,337	1,389
年代別	18歳未満	253	238	229	236	252
	18歳以上	1,069	1,098	1,102	1,101	1,137
障がい 程度別	A(重度)	468	482	478	480	491
	B(中・軽度)	854	854	853	857	898

資料:障がい者支援課(各年度3月末現在)

③精神障がいのある人

唐津市の精神障害者保健福祉手帳所持者数の状況をみると、平成30年度の789人から令和4年度の974人まで増加しています。

年代別にみても、18歳未満も18歳以上も年々増加しています。

障がい程度別では、1級がほぼ横ばいの推移であるのに対し、2級、3級は増加傾向にあります。

▼ 精神障害者保健福祉手帳所持者数の推移

(人)

		平成 30年度	令和 元年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度
計		789	856	887	956	974
年代別	18歳未満	-	40	44	49	59
	18歳以上	-	816	843	907	915
障がい 程度別	1級	61	71	61	73	74
	2級	518	570	595	637	651
	3級	210	215	231	246	249

資料:障がい者支援課(各年度3月末現在)

(3) 医療的ケア児の状況

医学の進歩を背景として、NICU（新生児特定集中治療室）等に長期入院し、退院後も人工呼吸器や胃ろうなどを使用し、たんの吸引や経管栄養などの医療的ケアが日常的に必要なこどもが増えています。

佐賀県からは、令和元年以降、災害対策基本法の改正に基づき、小児慢性特定疾病児童の情報が提供されています。唐津市における医療的ケアを受けている方の推移は、次のとおりです。

▼ 小児慢性特定疾病児童等数の推移

	平成 30年度	令和 元年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度
小児慢性特定疾病児童等数	—	144	165	142	142

(人)

▼ うち電源を必要とする医療機器の使用状況

人工呼吸器	—	1	1	2	1
在宅酸素	—	12	12	13	8
吸引	—	6	6	11	7
在宅腹膜透析	—	0	1	1	0

資料：佐賀県提供

(4) ひとり親世帯の状況

唐津市の一般世帯数は平成12年から令和2年にかけて継続的に増加していますが（世帯構成の推移）、ひとり親世帯数は平成22年の1,094世帯をピークに減少傾向となっています。

母子世帯、父子世帯の別にみても、平成22年以降減少に転じる状況は同じです。

▼ ひとり親世帯数の推移

	平成 12 年	平成 17 年	平成 22 年	平成 27 年	令和 2 年
ひとり親世帯数	934	1,064	1,094	1,057	998
母子世帯数	855	974	996	972	916
父子世帯数	79	90	98	85	82

(世帯)

資料：国勢調査

※母子(父子)世帯：未婚、死別または離別の親とその未婚の20歳未満の子どものみから成る一般世帯

(5) 生活保護及び生活困窮者の状況

①生活保護の状況

生活保護の状況を見ると、生活保護世帯数、生活保護受給者数のいずれも減少傾向にあります。

▼ 生活保護世帯数・生活保護受給者数の推移

(世帯、人)					
	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
生活保護世帯数	1,429	1,421	1,362	1,257	1,141
生活保護受給者数	1,704	1,676	1,582	1,441	1,303

資料:生活保護課(各年度3月末現在)

②生活困窮者の状況

平成27年度に開設された「唐津市生活自立支援センター」は、さまざまな理由で生活に困っている人の相談に応じています。相談者数、延べ相談件数は継続的な増加傾向にあり、特に相談者数は令和2年度から大きく増加しています。

主な相談内容を見ると、令和4年度に最も多かった相談内容はお金に関する事で、次いで生活に関する事、仕事に関する事、健康に関する事、の順になっています。主な相談内容の件数の合計が相談者数よりも多くなっていることは、一人の相談者が複数の相談ごとを抱えていることの表れといえます。

▼ 唐津市生活自立支援センター相談者数・主な相談内容・相談件数の推移

		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
相談者数		359	385	747	818	683
主な相談内容	お金に関する事	280	319	671	745	634
	仕事に関する事	159	172	418	444	397
	健康に関する事	190	202	242	307	384
	生活に関する事	127	164	258	246	473
相談件数(延べ)(件)		6,169	9,256	11,086	15,366	15,259

資料:生活保護課(各年度3月末現在)

(6) 犯罪や非行をした人の状況

① 刑法犯認知件数の状況

令和4年の佐賀県内における刑法犯認知件数は2,861件で、平成30年の件数と比較すると、約20%減少しています。また、唐津市内の刑法犯認知件数も減少傾向にあり、平成30年の件数と比較すると、約18%減少しています。

▼ 県内及び唐津市内の刑法犯認知件数の推移

	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年
佐賀県 刑法犯認知件数	3,581	3,400	3,069	2,821	2,861
唐津市 刑法犯認知件数	577	616	529	431	473

(件)

資料:佐賀県警察本部(各年単位)

② 再犯者数の状況

県内の刑法犯検挙者数は、刑法犯認知件数同様、減少傾向にあり、再犯者率も令和4年においては、43.6%まで減少しました。なお、唐津警察署管内においては、刑法犯検挙者数は減少傾向にあるなか、再犯者率は令和3年まで増加していましたが、令和4年は減少しています。

▼ 県内刑法犯検挙者及び再犯者数の推移

	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年
佐賀県内 刑法犯検挙者数	1,281	1,085	1,112	1,203	1,087
うち初犯者数	649	578	561	626	613
うち再犯者数	632	507	551	577	474
再犯者率(%)	49.3	46.7	49.6	48.0	43.6

(人)

資料:佐賀県警察本部(各年単位)

▼ 唐津警察署管内刑法犯検挙者及び再犯者数の推移

	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年
唐津警察署管内 刑法犯検挙者数	198	159	192	174	150
うち初犯者数	110	81	96	83	87
うち再犯者数	88	78	96	91	63
再犯者率(%)	44.4	49.1	50.0	52.3	42.0

(人)

資料:福岡矯正管区(各年単位)

3 社会資源の状況

(1) 社会福祉施設の状況

① 高齢者福祉・介護分野

唐津市の高齢者福祉・介護分野の施設は195か所で、そのうち98施設が唐津地区にあります。

▼ 地区別の高齢者福祉・介護分野施設

	唐津地区	浜玉地区	厳木地区	相知地区	北波多地区	肥前地区	鎮西地区	呼子地区	七山地区	計
在宅介護支援センター	7	1	-	1	1	2	1	1	-	14
介護老人福祉施設 (特別養護老人ホーム)	3	2	-	1	1	1	1	1	-	10
介護老人保健施設	5	1	1	-	-	-	-	-	-	7
介護医療院	-	-	1	-	-	-	-	-	-	1
認知症対応型 共同生活介護 (グループホーム)	23	3	1	3	3	2	3	1	1	40
通所介護 (デイサービス)	22	6	1	4	2	1	3	3	-	42
地域密着型 通所介護 (地密デイ)	19	1	1	4	3	1	-	1	1	31
認知症対応型 通所介護 (認知デイ)	5	-	1	-	-	-	-	-	-	6
小規模多機能型 共同生活介護	8	1	1	1	1	1	-	1	-	14
看護小規模 多機能型居宅介護 (複合型サービス)	2	1	1	-	-	-	1	1	-	6
養護老人ホーム	1	-	1	1	-	-	-	1	-	4
軽費老人ホーム	2	-	-	1	-	-	-	-	-	3
高齢者生活福祉 センター	-	-	-	-	-	1	1	-	-	2
老人福祉センター	1	-	-	-	-	4	-	1	1	7
老人憩いの家	-	-	1	1	1	1	3	1	-	8
計	98	16	10	17	12	14	13	12	3	195

資料：高齢者支援課(令和4年度末時点)

②児童福祉・子育て支援分野分野

唐津市の児童福祉・子育て支援分野の施設は、幼児期の教育・保育施設では、保育所が39か所（公立2・私立37）、認定こども園が11か所、地域型保育事業所が4か所となっています。

福祉関係施設では、母子生活支援施設が1か所、児童養護施設が1か所、児童自立支援施設が1か所、助産施設が1か所となっており、子どもの遊び場に関連する施設として児童館が1か所、児童センターが2か所となっています。

地区別にみると、唐津地区に全61施設のうち38施設があります。

▼地区別の児童福祉・子育て支援分野施設

		(か所)									計
		唐津地区	浜玉地区	厳木地区	相知地区	北波多地区	肥前地区	鎮西地区	呼子地区	七山地区	
保育所	公立	1	-	-	-	1	-	-	-	-	2
	私立	24	3	-	-	2	2	2	3	1	37
認定こども園		6	1	1	1	-	1	-	1	-	11
地域型保育事業所		2	-	-	-	-	-	1	1	-	4
母子生活支援施設		1	-	-	-	-	-	-	-	-	1
児童養護施設		1	-	-	-	-	-	-	-	-	1
児童自立支援施設		-	1	-	-	-	-	-	-	-	1
助産施設		1	-	-	-	-	-	-	-	-	1
児童館		-	-	-	-	-	1	-	-	-	1
児童センター		2	-	-	-	-	-	-	-	-	2
計		38	5	1	1	3	4	3	5	1	61

※児童館及び児童センターは、令和6年度末で廃止予定
資料：こども家庭課(令和4年度末時点)

③障がい福祉分野

唐津市の障がい福祉分野の施設は136か所で、そのうち104施設が唐津地区にあります。

▼ 地区別の障がい福祉分野施設

	唐津地区	浜玉地区	巖木地区	相知地区	北波多地区	肥前地区	鎮西地区	呼子地区	七山地区	計
入所施設	2	-	-	-	-	-	-	-	-	2
グループホーム	19	2	1	-	-	-	-	-	-	22
福祉ホーム	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1
居宅介護	7	1	-	3	-	-	-	-	-	11
生活介護	3	1	-	1	-	-	-	-	-	5
療養介護	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1
短期入所 (ショートステイ)	6	1	-	-	-	-	-	-	-	7
移動支援	1	-	-	1	-	-	-	-	-	2
訪問入浴	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1
日中一時支援	3	-	-	-	-	-	-	-	-	3
就労継続支援 (A型)	4	1	-	1	-	-	-	-	-	6
就労継続支援 (B型)	14	4	1	2	3	-	-	-	-	24
就労移行支援	-	2	-	-	-	-	-	-	-	2
地域活動 支援センター	3	-	-	-	-	-	-	-	-	3
福祉型児童発達 支援センター	2	-	-	-	-	-	-	-	-	2
放課後等 デイサービス	18	2	-	-	-	-	-	-	-	20
相談支援事業所	9	1	1	-	1	-	-	-	-	12
児童発達支援	10	2	-	-	-	-	-	-	-	12
計	104	17	3	8	4	0	0	0	0	136

資料:障がい者支援課(令和4年度末時点)

(2) 人的資源の状況

① 民生委員・児童委員、主任児童委員

民生委員・児童委員は、民生委員法に基づき、住民の中から選ばれ、都道府県知事の推薦を受けて厚生労働大臣が委嘱します。任期は3年で、児童福祉法の規定により児童委員を兼務しています。また、民生委員・児童委員の中には児童福祉問題を専門に担当する主任児童委員が設置されています。

令和4年度末時点で335人の民生委員・児童委員（うち主任児童委員が37人）が活動しています。

なお、定員は民生委員・児童委員が336人、うち主任児童委員が37人です。

▼ 地区別の民生委員・児童委員数

	唐津地区	浜玉地区	巖木地区	相知地区	北波多地区	肥前地区	鎮西地区	呼子地区	七山地区	計
民生委員・児童委員	144	25	20	22	13	24	24	17	9	298
主任児童委員	21	2	2	2	2	2	2	2	2	37
計	165	27	22	24	15	26	26	19	11	335

資料：福祉総務課(令和4年度末時点)

② 福祉員

福祉員は、身近な地域における福祉活動のリーダーとして配置されており、住民相互の助け合い活動や地域の交流事業の推進に取り組んでいます。約50世帯に1人の割合で町内ごとに配置され、令和4年度末時点で832人が活動しています。

▼ 地区別の福祉員設置数

	唐津地区	浜玉地区	巖木地区	相知地区	北波多地区	肥前地区	鎮西地区	呼子地区	七山地区	計
世帯数	33,437	4,520	1,697	2,889	1,702	2,378	2,066	1,776	635	51,100
福祉員設置数	533	101	36	36	37	43	22	12	12	832

資料：唐津市社会福祉協議会(令和4年度末時点)

③ファミリー・サポート・センター事業

子どもの預かり等の援助を受けることを希望する人（利用会員）と援助を行うことを希望する人（協力会員）との相互援助活動に関して連絡、調整を行う事業です。

利用会員数が増加傾向にあり、利用実績も増加傾向にありますが、援助を行う協力会員数は横ばいの状況となっています。

▼ ファミリー・サポート・センター事業の利用・会員数の推移

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
利用実績（延べ）	430	352	584	742	783
利用会員数	2,588	2,851	2,904	3,036	3,229
協力会員数	79	83	84	84	83
両方会員数	15	17	18	13	14

資料：こども家庭課（各年度3月末）